

## 第5次川本町総合計画にパブリックコメント及び回答について

- パブリックコメント募集期間 平成24年7月30日～8月20日まで
- いただいたご意見、ご要望 10件

### 【ご意見1】

第4次川本町総合計画の評価は今回の（案）に掲載されているが、あれだけですか？もっと詳細があるのなら追加掲載して下さい。もしないのなら5次計画で唱えている行政評価システムを稼働させるか、第3者機関に委ねて公表して下さい。

### 【回答1】

第4次総合計画の評価については、目標数値等が設定されていかなかったため、これ以上の評価をする予定はありません。第4次総合計画の反省に基づき、第5次では目標数値を設定して、進捗管理を行います。

### 【ご意見2】

現状の支援策では雇用の場の増加は厳しいと考えます。現支援策の見直しかグレードアップを期待します。

また雇用者数のマイナス目標は施策と言えるのですか？

### 【回答2】

ご意見ありがとうございます。雇用支援に対する具体的な施策については、実施計画に基づき、より積極的に支援していく予定です。

雇用者数のマイナス目標については、川本町の総人口の動態により算出しているため、人口減になれば雇用の減も致し方ないと考えます。雇用数維持のため、積極的に支援していきたいと考えています。

### 【ご意見3】

町民あげての営業とは具体的にどういうことをするのですか？明示して頂きたいです。

### 【回答3】

ご意見ありがとうございます。町民の皆さまに、いろいろなところで町の情報発信をしていただきたいと考えています。今回の同窓会に対する補助金も町の情報を発信していただくための間接的な補助金として位置づけています。

町民の皆さまに様々な場面で様々な情報をお伝えしていく予定ですので、ご協力をお願いします。

**【ご意見4】**

詳細な資料として年齢別人口構成比率（10歳毎・最新）を図にして掲載してほしいです。  
また人口のマイナス目標は施策と言えるのですか？

**【回答4】**

ご意見ありがとうございます。10年後の推計人口は、自然減によるものや少子高齢化などの要因により2,900人まで減少するというデータがあります。これを、様々な施策を講じることで3,300人を目指すのが第5次総合計画あり、定住支援や子育て支援を行うことで目標人口を目指します。

人口構成の図については、総合計画の段階では3段階の表示までとさせていただきます。実施計画の段階では、詳しい人口構成が必要になってくると考えます。

**【ご意見5】**

お父さんの料理教室を掲載するのであれば、えごま料理教室（三原）、えごま油を使用した地中海料理教室（島根県立大学/社会医療法人仁寿会）の活動も掲載して頂きたいです。地中海料理の参加者は料理教室&検査23名、検査のみ17名、今後も世代に拘わらず毎月5名の町民の方々に、料理教室に参加してもらう予定です。三原地区の方々だけでなく町内のたくさんの方々に地中海料理という珍しい料理を、簡単においしく食してもらいオリーブ油の代わりに、えごま油を使用してもらい、その効果（認知症予防・うつ病予防）を実感して頂くことを、この取り組みの目的の一つとして積極的に行なっています。（健康福祉課協力のもと）

**【回答5】**

ご意見ありがとうございます。本文には、長年活動を続けておられる団体を例示として掲げさせていただきました。具体的な事業については担当課で検討することとします。

**【ご意見6】**

廃校になった両施設の整備が不十分ではないかどうか再検証してほしいです。

川本西小学校と三原小学校の活用策については2009年12月に福祉施設への転用が検討された経緯もありますし、第5次川本町総合計画（案）住民説明会でも質問されていますが、このことは、全く（案）には反映されていないようです。既存の法律で設置可能な低所得者の方も入居できる軽費老人ホームや、2011年度に国土交通省と厚生労働省タッグにより創設されたサービス付き高齢者向け住宅は国による新制度推進施策です。これらは一人暮らしの老人や老老介護に苦しむ高齢者の安心・安全な暮らしを支援するためのものです。冒頭で述べた転用の可能性をぜひ再考して頂きたいと強く願うところであります。

**【回答6】**

ご意見ありがとうございます。具体的な事業については担当課で検討することとします。

【ご意見 7】

現在、島根県教育委員会は 2004 年～2008 年に策定した県立高校後期再編計画を最後に各高校での学科のクラスの増減はあるものの、学校の再編の計画はありません。しかし島根県の人口は、大きく減少しながらも高齢者人口が横ばいということは、18 歳以下の人口が人口減少の大きな要因といっても過言ではありません。

そしてこのことは、中山間地域に位置する島根中央高校の生徒数にも大きな影響を与えていくでしょう。現在高校では、校長先生や各先生による生徒の勧誘は、県内外に及び町教育委員会も後援会事務局として、生徒勧誘に東京、関西、広島と尽力をされているとお聞きしています。未来を予測していくと近隣を含めた地元の生徒より、都市部から入学する生徒が増加していく傾向が表れてくるかもしれません。

そこで上記項目で唱えている寮・下宿について今から考えておく必要があると考えます。現在高校自体で、寮がありますが、昔ながらの下宿ではなくまた学校の隣にある寮ではなく、街の中にある住民が見守りながらも、生徒たちが、生活しやすく学力向上ができる機能を持った中規模の寮（下宿の色合いのある）で民設民営（1 部公の支援要）を提案したいと思います。子供たちがいないと街は活性化しません。これも現在の項目にプラスして詳細を掲載頂きたいと思います。

【回答 7】

ご意見ありがとうございます。具体的な事業については担当課で検討することとします。

【ご意見 8】

その他個々の施策には全く問題ありません。粛々と進めて頂きたいと思います。

また上記意見⑥、意見⑦で述べさせてもらっていますが、そういう施策には、投資的経費がかかります。現在（2012 年度ベース）でその割合は一般予算比 11.8%しかありません。ぜひ町政の運営を進めながら、新しい施策を遂行できる財源を確保するためご尽力をお願い致します。

【回答 8】

ご意見ありがとうございます。財源の確保に努めます。

【ご意見 9】

第 5 次川本町総合計画（案）では町民総動員で一人一人が営業マンとして町外に川本を PR していくわけですが、ルーティンな施策、政策は別として、目玉は何になりますか？えごまですか？住みやすさですか？教えて下さい。またセールストークにつきましてもご教示頂ければと思います。

【回答 9】

ご意見ありがとうございます。「暮らしてみたい町」「これからもずっと暮らし続けたい町」を目指して町づくりを展開して行く予定です。特にこれが「目玉」というものはありませんが、4 本柱にかかる施策については強化していく予定です。

**【ご意見10】**

第5次川本町総合計画（案）実施計画策定（2012年～2016年の5年間）、特に重点項目と見落としている計画。またその他重点施策と判断したものを織り込むときには、策定委員会を設立し、住民参加の上、計画を完成させてほしいと思います。参加者は有識者でなく一般募集として頂きたいことを要望致します。

**【回答10】**

ご意見ありがとうございます。基本的に今回の総合計画は、コンサルタント委託を行わず、全職員の手により策定し、住民説明会やパブリックコメントを活用しながら住民の目線で決定することを基本方針として進めております。議会からの了承もいただいておりますので、現時点では役場外からの委員の募集を行う予定はありません。

(以上)